

ERE（経済学検定試験）会報誌

ERE information

Vol.37 2020年2月27日発行

発行／特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者／勅使河原 豊
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号／電話(03)3267-4819／<http://www.ere.or.jp/>

Contents

- ▶ 第37回経済学検定試験：『ERE／EREミクロ・マクロ』のマークシート方式終了へ
——『ERE』『EREミクロ・マクロ』とともに、平均点が上昇——
- ▶ 第32回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」：大阪産業大学「上級キャリアコースA」チームが初優勝！
- ▶ 「大学対抗戦」優勝チームを表彰
 - ・タテとヨコのつながり、そして努力！（優勝チーム 仁田峠 遼さん）
 - ・1つの目標に向かって！（準優勝チーム 野島音々さん）
 - ・経済理論モデルの理解が功を奏して！（個人賞トップ 川原巧実さん）
- ▶ 経済学検定試験『ERE／EREミクロ・マクロ』の年間応募者数
- ▶ CBT『EREミクロ・マクロ』試験の応募状況等
- ▶ 経済学検定試験CBT『EREミクロ・マクロ』の概要について
- ▶ CBT『EREミクロ・マクロ』試験への移行と『ERE』試験の休止について
- ▶ CBT『EREミクロ・マクロ』大学対抗戦について
- ▶ 認定委託会場でのお申込み概要と実施方法について

《第37回経済学検定試験》

『ERE／EREミクロ・マクロ』のマークシート方式終了へ 『ERE』『EREミクロ・マクロ』とともに、平均点が上昇

2019年12月1日（日）に実施いたしました第37回ERE、EREミクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

2019年5月よりスタートしたCBT『EREミクロ・マクロ』試験と並行実施していましたマークシート方式の経済学検定試験ですが、今回をもちまして終了となりました。今後は、全面的にCBT方式の試験となります。

最終回のEREとEREミクロ・マクロの合計応募者数は984名となりました。特に応募者が多かったのは、明海大学の261名でした。

成績概要是《資料1・2》のとおりです。EREの平均点は、前回を4.2点上回る410.6点、EREミクロ・マクロの平均点も前回を19.9点上回る201.7点となりました。

《資料1-1》科目別成績『ERE』

科 目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配 点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平 均 点	107.2点	117.5点	47.2点	51.1点	50.0点	37.5点
(前 回)	116.8点	108.9点	56.8点	44.6点	44.3点	35.0点
標準偏差	53.31点	48.10点	16.93点	19.97点	21.47点	17.38点
(前 回)	41.06点	32.11点	15.13点	22.75点	15.45点	16.58点

《資料1－2》
『E R Eミクロ・マクロ』

《資料2》
成績概要

科 目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配 点	250点	250点
平 均 点	99.5点	102.2点
(前 回)	92.8点	89.0点
標準偏差	52.32点	51.78点
(前 回)	45.59点	42.44点

	E R E	E R Eミクロ・マクロ
応募者数	54名	930名
受験者数	36名	749名
平均点	410.6点	201.7点
標準偏差	143.27点	98.65点
最高得点	750点	470点
最低得点	230点	50点

《資料3》団体応募状況

□ E R E／E R Eミクロ・マクロ					
1	明海大学	261	15	関東学院大学	11
2	日本大学	37	16	岡山商科大学	10
3	立正大学	26	17	名古屋学院大学	9
3	龍谷大学	26	18	お茶の水女子大学	8
5	大阪経済大学	24	19	大阪市立大学	5
6	専修大学	23	19	立命館大学	5
7	創価大学	20	19	新潟産業大学	5
8	大阪産業大学	18	22	明治大学	4
9	国際教育交流基金	16	22	広島修道大学	4
10	琉球大学	15	22	長岡大学	4
10	武蔵野大学	15	25	青山学院大学	3
12	福島大学	14			
13	旭川大学	13			
13	九州産業大学	13		個人	395

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」 + 「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『E R E』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1			楊 輝	S
2			嶋田 雄太	A+
3			清水 邦敏	A+
3			——	A+
5			佐藤 大介	A
6			福留 悠真	B+
7			小宮 秀治	B+
8			鈴木 将之	B+
9	和歌山大学	経済学部	堀田 翔	B+
10			井上 寛樹	B+
10			小早川 大輔	B+

《資料5》『E R E ミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1			LI BAI XIN	S
1			李 倖屹	S
3			LU HONG YI	S
3			Zhao Chun Kai	S
3			_____	S
3			LI ZHIGENG	S
3			饒 書宇	S
3			ZHANG YIN JIA	S
9			応 瑞 瑞	S
9			XU HUAN	S
9			WU YUXIN	S
9			LIU DONGPENG	S
9			徐 少聰	S
9	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	毛 文迪	S
15			王 一丹	S
15	岡山商科大学	経済学部経済学科	伊 洋	S
15	岡山商科大学	経済学部経済学科	陳 建強	S
18			HU ZHENG HAO	S
18			LYU YUANKAI	S
18			CHEN FANG PEI	S
18	創価大学	経済学部	川原巧実	S
18			田 宇	S
18			Liu Yi	S
18			角村一成	S
18			LI JING ZI	S
18	岡山商科大学	経済学部経済学科	孟 帥同	S
27			饒 新	S
27			尹 怡洲	S
27	専修大学	経済学部	野畠音々	S
27	日本大学	経済学部経済学科	金井田結香	S
27	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	劉 弘志	S

《第32回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

大阪産業大学「上級キャリアコースA」チームが初優勝！

準優勝は専修大学「経済学検定選抜A」チーム／個人賞トップは川原巧実さん

第32回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、8校16チーム、計122名で競われました。

優勝は、大阪産業大学「上級キャリアコースA」チームでした。1,530点を獲得しての初優勝となりました。準優勝は1,470点を獲得した専修大学「経済学検定選抜A」チームです。第3位には、1,430点を獲得した創価大学の「創価大学A」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、430点を得点した創価大学「創価大学A」チームの川原巧実さんです。なお、個人賞は350点以上11名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は248.75点で、前回を7.25点上回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	上級キャリアコースA	大阪産業大学	1,530点	382.5点
準優勝	経済学検定選抜A	専修大学	1,470点	367.5点
第3位	創価大学A	創価大学	1,430点	357.5点

※参加メンバーの上位4名の総合点です。上位4位までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

《「大学対抗戦」優勝チームを表彰》

初優勝の大坂産業大学「上級キャリアコースA」チームを表彰！

大阪産業大学「上級キャリアコースA」チームは、前回（第31回（2019年7月7日実施））の大学対抗戦において第3位に入賞していましたが、今回、初優勝の栄冠に輝きました。

去る1月29日（水）、優勝した大阪産業大学「上級キャリアコースA」チームを日本経済学教育協会事務局が訪問し、表彰をいたしました。当日は、優勝した「上級キャリアコースA」チームのメンバーを祝し、中村学長、富澤経済学部長をはじめとして、メンバーの指導にあたっている大谷先生、久納先生など総勢50名を超える多くの関係者の出席のもと行われました。

上級キャリアコースは、ERE試験やTOEICなどの検定試験、資格取得にチャレンジすることを通じて、民間優良企業、県庁や市役所、さらには大学院進学等を目指すコースで、2015年度より本格的にスタートしました。

EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、第23回、第25回、第27回で、それぞれ第4位、第29回は第5位、第31回は第3位と着実に実力をつけており、今回、優勝の栄冠に輝きました。

次回からの「大学対抗戦」は、スタイルを変更いたしますが、引き続き挑戦していただき、チームの活躍を期待しています。



大阪産業大学中村学長（写真上）と「上級キャリアコースA」チームのメンバー（写真下）

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝 大阪産業大学「上級キャリアコースA」

タテとヨコのつながり、そして努力！

今回、第32回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において優勝できたことを大変光栄に思っています。同時に、常に熱心に指導してくださった経済学部・上級キャリアコースの先生方、温かく我々を見守ってくださった卒業生のみなさん、勉強面のみならずメンタル面でのアドバイスも与えてくださった先輩方には深く感謝申し上げたいと思います。

そして、もう一つ忘れてはならないのが共に切磋琢磨してきた同輩、上級キャリアコース2年生のメンバーたちです。私たちは、前回先輩方が実現した「大学対抗戦」第3位以上の成果を目標に勉学に励んできましたが、「大学対抗戦」参加はメンバー全員が初めての経験であり、目標を実現できるのか不安でした。ですが、彼らとの定期的な勉強会が不安を払しょくすると同時に、実力を高めてくれました。

今後は、今回の経験を活用しつつ、先輩たちと同様に理想の就職先・進学先を手にできるようさらに精進し続けたいと考えています。

(大阪産業大学 上級キャリアコースA 仁田峠 遼さん)

☆準優勝 専修大学「経済学検定選抜A」

1つの目標に向かって！

私たちの目標は、代々の先輩方が成し遂げた大学対抗戦の入賞を自分たちの代でも達成することでした。これまでに、私たちのチームは大学対抗戦に2回挑戦しましたが入賞には至らず、今回が最後のチャンスだと思っていましたので、今まで以上に全力で取り組みました。

私は、今回準優勝という結果を収めることができた理由の一つは、意思疎通を十分に図った結果であると思います。チームの立ち上げ当初は、お世辞にも入賞ができるとは言えない状態で、今後どうしていくべきか、何をしなければならないかを幾度も悩みました。そして、個々人が残された期間で最大限の力を発揮するために、まずはチームの中で相談しやすい環境づくりに取り組み、目標を再確認できる機会を増やしてモチベーションの維持に繋げることを意識しました。

また、講師やエクステンションセンターの皆様、先輩方からの指導や助言を多く頂き、改めて周りの方々の支えがあってこそ、と一同が実感する機会にもなりました。

今学び得たことを忘れずに、今後もチームメンバーの一人ひとりが精進して経済学の学習に勤しみたいと思います。

(専修大学 経済学検定選抜A 野畠音々さん)

☆個人賞トップ

経済理論モデルの理解が功を奏して！

この度は、個人賞トップという成績を収めることができ、大変嬉しく思います。私がこのような賞を頂けたのも、先輩のサポートがあり、最後まで切磋琢磨したメンバーがいたからと感じます。支えてくださった関係者の方々には、感謝の思いでいっぱいです。

私は、今回のEREミクロ・マクロ「大学対抗戦」に挑戦するにあたり、経済理論モデルの理解を深めていくことに専念しました。前回の「大学対抗戦」では、過去問を解くだけでは理論の理解に至らず、問題が少し変われば解けないことが多々ありました。その反省を活かし、参考書も使用しながら、納得のいくまで学び深めることができたため、今回の結果に結びついたと感じます。

今回学んだことを糧に、さらに経済学の学習に精進していきます。

(創価大学 創価大学A 川原巧実さん)

《経済学検定試験『ERE／EREミクロ・マクロ』の年間応募者数》

2019年度は、年間総応募者数4,200名超の過去最多に！

2019年度は、マークシート方式とCBT方式の試験を並行実施した年となりました。その関係で、上期はマークシート方式による受験、下期はCBT方式による受験になった受験者も多数受けられますが、いかがでしたでしょうか。

第36回試験（2019年7月7日実施）ERE／EREミクロ・マクロ試験の応募者は1,738名、第37回（2019年12月1日実施）ERE／EREミクロ・マクロ試験の応募者は984名で、マークシート方式による年間応募者数は2,722名となりました。また、下掲のとおりCBT方式による試験の応募者数は、1月27日現在で1,425名となっており、マークシート方式とCBT方式を合せた年間応募者数は4,147名に達しています。また、1月中の受験申込者数は57名となっていますので、過去最多であった2018年度の年間応募者数3,466名を大幅に更新して、2019年度の年間総応募者数は4,200名を超え、過去最多に達しました。

《CBT『EREミクロ・マクロ』試験の応募状況等》

個人申込、団体申込とも順調にスタート！

CBT方式、マークシート方式とも平均点は、ほぼ同一

2019年5月から個人によるCBT『EREミクロ・マクロ』試験の受付が開始されました。また11月からは団体による受付が開始され、順調にスタートを切りました。2020年1月27日までの個人および団体の申込応募者数・平均点は、次のとおりとなっています。

(2020年1月27日現在)

	応募者数	受験者数	平均点
個人	952名	736名	—
団体	473名	428名	—
計	1,425名	1,164名	197.4点

個人による応募者数は、2019年5月からの受付開始から順調に推移し、1月27日現在952名となりました。一方、団体による申込応募者数は、マークシート方式による試験と併用であったため、追手門学院大学（応募者数390名）、麗澤大学（応募者数64名）、酪農学園大学（応募者数11名）、明治大学（応募者数8名）の4校473名となりました。2020年4月以降、各大学ともCBT『EREミクロ・マクロ』試験による受験となるため、団体による申込応募者数は大幅な増加が見込まれます。

個人・団体の応募者総数は、合計で1,425名となっていますが、1月28日以降、1月中の受験申込者は57名に達していますので、CBT方式による試験に約1,500名が応募したことになります。

また、CBT方式による全受験者の平均点（2020年1月27日現在）は197.4点で、マークシート方式による第37回（2019年12月1日実施）EREミクロ・マクロ試験の平均点201.7点とほぼ同得点となっています。これは、CBT方式、マークシート方式の問題のレベル感が一定であることの表れであると確信しております。

経済学検定試験 CBT『EREミクロ・マクロ』の概要について

経済学検定試験CBT『EREミクロ・マクロ』試験の詳細は、当会ホームページに掲載していますが、概要は次のようになります。

■CBT『EREミクロ・マクロ』試験の概要■

・出題科目と出題範囲

<ミクロ経済学(25問)>

選好と効用、最大化・最小化、需要の変化、異時点間代替、余暇、指數その他、短期企業行動、長期企業行動、利潤最大化、部分均衡、均衡の安定性、余剰分析・その他、一般均衡、厚生、公共財、外部性、独占、寡占・その他、不確実性、情報の非対称性、同時手番ゲーム、展開型ゲーム

<マクロ経済学(25問)>

経済統計、消費、投資、労働市場、金融、金融政策手段、財政、IS-LM、AD-AS、国際経済、経済成長、景気循環、インフレーション、経済学説

・出題形式 四答択一式50問（1問10点 500点満点）

・受験方法 CBT（Computer Based Testing）方式

・レベル マークシート方式の『EREミクロ・マクロ』と同一

・試験時間 90分

・受験料 4,000円+消費税

・受験地 全国約150のPC設置会場（テストセンター）

* J-Testingの専用サイトから申込み

<http://j-testing.jp/>

・当会が認める「認定委託会場」（各大学等）

* 「認定委託会場」で団体受験をご希望の場合は、

日本経済学教育協会事務局へお問合せください。

Tel: 03-3267-4819 e-mail: info@ere.or.jp

・試験日 通年受付と通年受験（年末年始を除く）

・試験結果 即時判定（得点、ランク、結果レポートの表示）

CBT『EREミクロ・マクロ』試験への移行と『ERE』試験の休止について

マークシート方式による経済学検定試験（ERE／EREミクロ・マクロ）は、第37回試験（2019年12月1日（日）実施）をもちまして終了いたしました。今後は、CBT方式による『EREミクロ・マクロ』試験をご受験ください。

また、『ERE』試験は、第37回試験をもって、当面の間、休止とさせていただきます。

CBT『EREミクロ・マクロ』大学対抗戦について

「EREミクロ・マクロ」大学対抗戦は、参加チームの大学等より継続実施のご希望が多く寄せられており、CBT『EREミクロ・マクロ』による実施方法等を、現在検討中です。

《認定委託会場でのお申込み概要と実施方法について》

CBT『EREミクロ・マクロ』試験の実施を、認定委託会場（パソコン（PC）教室等の設備のある大学等〈団体申込〉）でご希望される場合は、下記の流れに沿ってお申込み・運営をしていただきます。

日本経済学教育協会事務局へ

認定委託会場での試験実施を電話またはメールでご連絡ください。

TEL. 03-3267-4819 e-mail : info@ere.or.jp



事務局より、試験のお申込みに必要な書類等をご送付します。

- ・『団体用 CBT方式 経済学検定試験「EREミクロ・マクロ」受験案内』（ご要望部数）
- ・申込用CD-Rom
- ・『認定委託会場』設置申請書
- ・『MASTER CBT+での受験方法について（PC版）』など



CBT試験実施ご希望日の30日前までに、下記の書類等を事務局へご返送ください。

- ・「認定委託会場」設置申請書（団体責任者の承認印は必須）
- ・必要事項（受験者情報等）入力済の申込用CD-Rom



受験者の追加申込みは、CBT試験実施ご希望日の10日前まで受け付けます。



CBT試験実施 7日前までに、試験実施に必要な書類等をご送付します。

- ・受験者名簿（受験者氏名・受験用ID）
- ・『試験実施・監督者マニュアル』
- ・着席票を兼ねた計算用紙
- ・返送用資材



CBT試験実施 3営業日前までに、受験料をお振り込みください。



CBT試験実施ご希望日時に問題を配信しますので、マニュアルに沿って試験を実施してください。試験結果は、即時判明します。



受験者が試験時に使用した計算用紙、『試験実施・監督者マニュアル』をご返却ください。



15日後を目途に、全受験者の成績結果（CD-Rom）をご送付します。

- ・個人用成績通知書は、団体受験申込書の送付先（団体一括・個人）に郵送します。